STIEBEL ELTRON

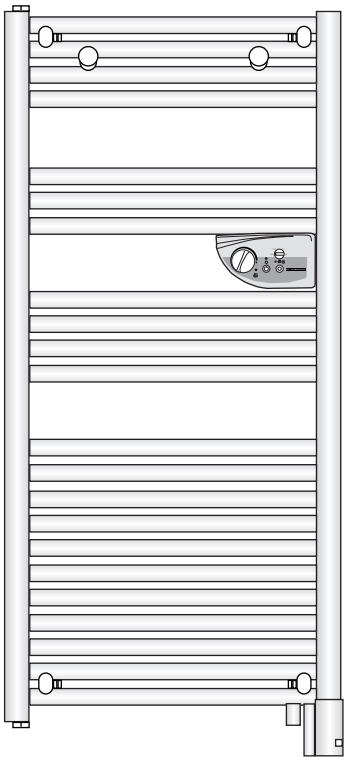
タオルウォーマー

# BHE75C

# 取扱説明書

（保証書付）

型　名……●BHE75C



お買い上げいただき、誠に有難うございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

● ご使用前に「安全上のご注意」（１ページ）を必ずお読みください。

● この取扱説明書は、必ず保証書とともにいつでも確認できるところに保管してください。

日本スティーベル株式会社

[目次]

## ●取扱説明書


1. 安全上のご注意 …… 1
2. 特長 …… 2
3. 各部のなまえ …… 3
4. 操作のしかた …… 4
   4－1. 暖房運転 …… 4
   4－2. 強制運転 …… 5
   4－3. 設定温度範囲の制限 …… 6
5. 日常の点検とお手入れ …… 7
6. 故障かな？と思ったら …… 7
7. 点検および修理について …… 8
8. 標準仕様 …… 8


## ●取付説明書


1. 安全上のご注意 …… 10
2. 各部のなまえ／外形寸法 …… 12
3. 取付方法 …… 13
   3－1. 事前準備 …… 13
   3－2. 機器の壁設置 …… 14
   3－3. 電源接続 …… 15
   3－4. バスローブフックの取付 … 16
4. 試運転 …… 16
   保証書 …… 17

# 1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。

| | |
|---|---|
| **警告** 誤った取扱いをしたときに、死亡、または、重傷に結びつく可能性があるもの。 | **注意** 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。 |

■ 本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

| | |
|---|---|
| **禁止マーク** | してはいけないことを示します。 |
| **注意マーク** | 注意することを示します。 |
| **指示マーク** | 必ず行なうことを示します。 |

## 警告

### 禁止

機器の離隔距離の範囲内に物を掛けたり、設置したり窓等の開口部がないようにしてください。

| | 上面 | 下面 | 左面 | 右面 |
|---|---|---|---|---|
| 離隔距離 | ≧150mm | ≧200mm | ≧150mm | ≧150mm |

他の暖房器と隣接させないでください。

機器の近くに、ガス類等の可燃性物質や爆発の恐れがある物質を保管したり、使用したりしないでください。

絶対に改造はしないでください。

濡れた手で機器を操作しないでください。

機器に水をかけないでください。また、機器が災害等により、濡れてしまった場合は、使用しないでください。

機器運転中や電源OFF直後は、機器表面が高温となっている場合がありますので、絶対に触らないでください。また、子供が近寄らないようにしてください。

### 指示

壁固定金具が正しく取付けられ、機器がしっかりと壁面に固定されていることを確かめてください。

機器の設置、移設は、必ず専門業者に依頼して行なってください。

補強を行なっていても震災、その他の天変地異で転倒する可能性があります。暖房期間中に万が一脱落した場合は、下記の①～③を実施の上、お客さまセンターにご連絡ください。

① 機器の電源ブレーカを切ってください。
② 落下物がある場合は取り除いてください。
③ 建物が揺れている間は、機器に近づかないでください。

子供や身体に障害がある人が機器を操作する場合は、監督者の管理のもと、または、安全管理者による適切な指導を受けた上でご使用ください。

## 注意

### 禁止

機器の上に物を置いたり、機器に荷重を掛けたりしないでください。

バスローブフックには、3kgを超える質量のものを掛けないでください。

### 指示

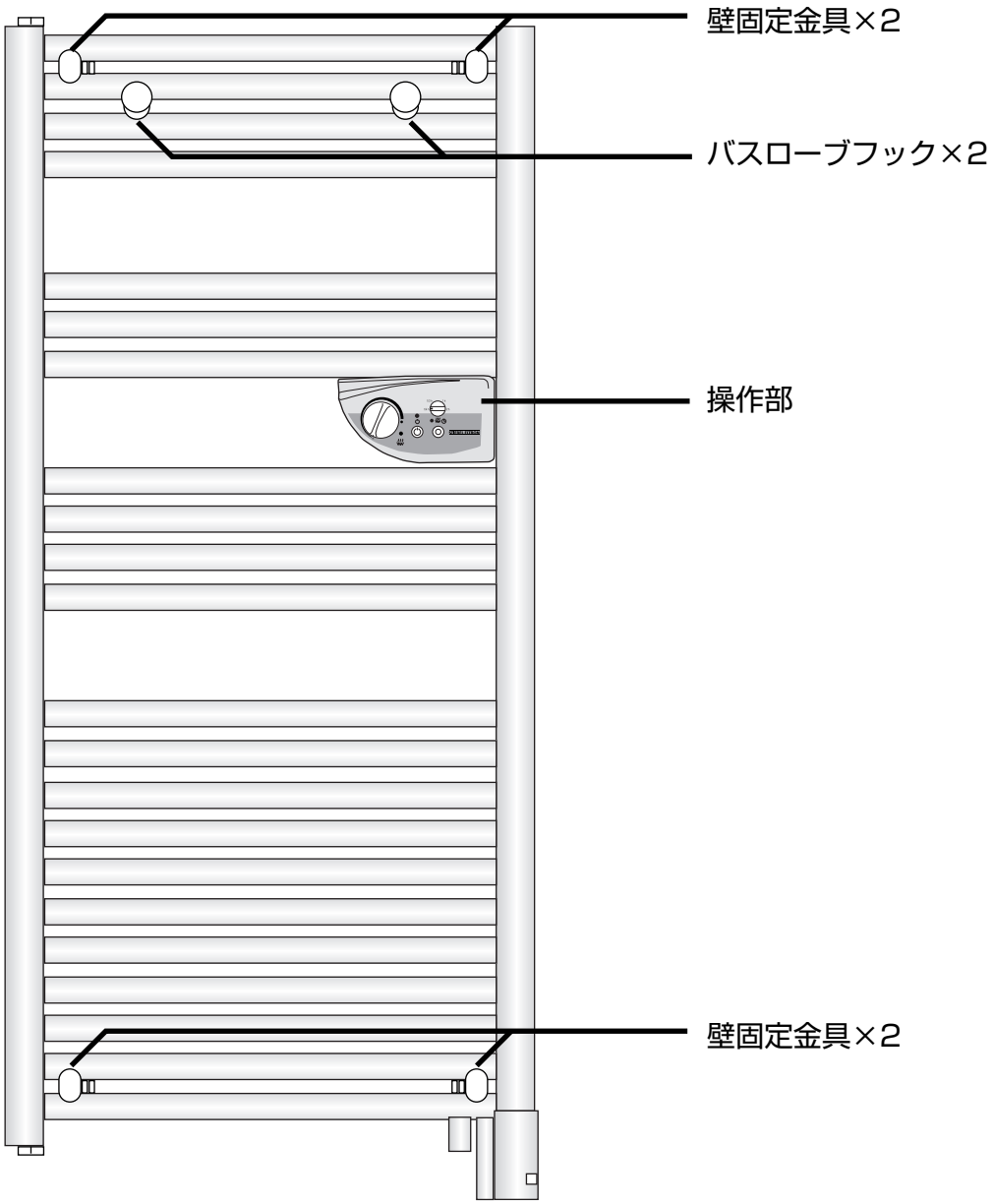
機器の所有者が変わる場合には、必ず本取扱説明書を新しい所有者に引き継ぎ保管できるようにしてください。

機器に異常が発生した場合は、機器の電源をＯＦＦにし、ブレーカを「切」（ＯＦＦ）にしてお客さまセンターに修理を依頼してください。

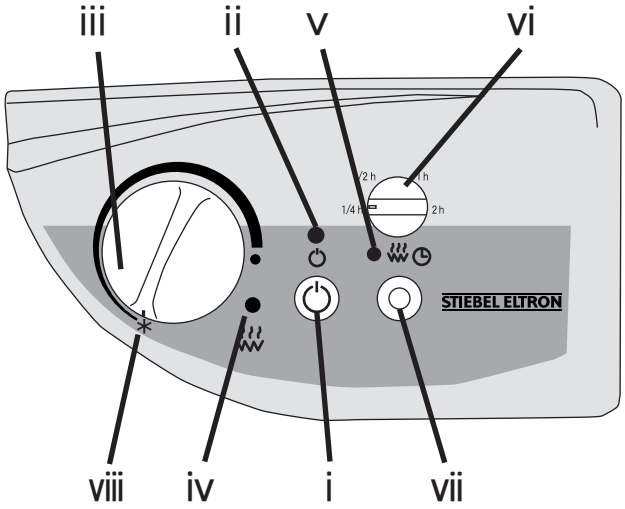
# 2. 特長

BHE75C（以下、機器）は、壁に設置して内部の不凍液を専用ヒーターで温めて、タオルの乾燥や加温、洗面脱衣室などの暖房を行う放熱器です。
通常の暖房運転の他に、一定時間暖房を継続する強制運転機能があります。

# 3. 各部のなまえ




**操作部詳細**

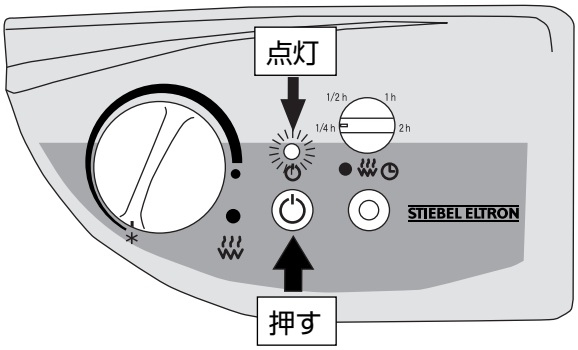



i ：電源ボタン
ii ：電源ランプ
iii ：室温設定ダイヤル
iv ：ヒーター運転ランプ
v ：強制運転ランプ
vi ：タイマー設定ダイヤル
vii ：強制運転ボタン
viii ：凍結防止設定

# 4. 操作のしかた

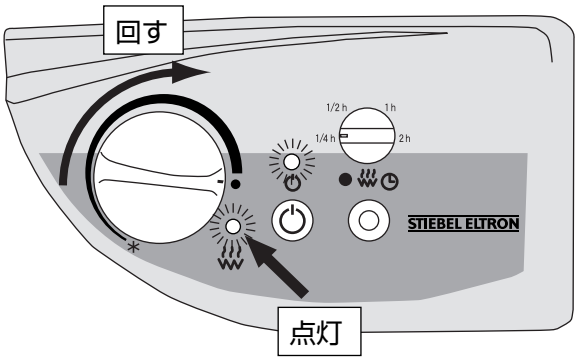
## 4－1. 暖房運転

**（1）暖房を開始します。**




①ブレーカを「入」（ON）にします。

②電源ボタンを押し、電源ランプを点灯させます。



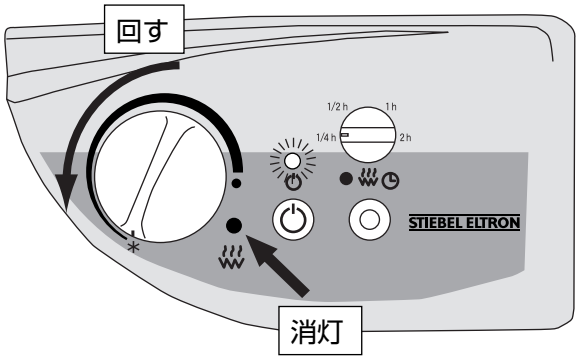

③室温設定ダイヤルを時計回りに回してお好みの温度に設定します。

④室温が設定温度より低ければ、ヒーター運転ランプが点灯して、暖房を開始します。

メモ

室温が設定温度より高い場合は、ヒーター運転ランプが消灯したままとなります。

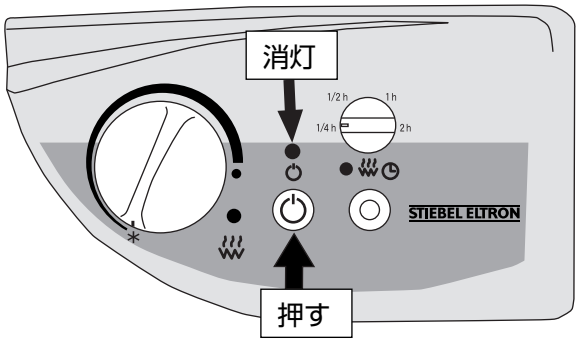
**（2）暖房を停止します。**




①室温設定ダイヤルを反時計回りに回して、凍結防止運転「＊」に合わせると、ヒーター運転ランプが消灯して暖房を停止します。

メモ

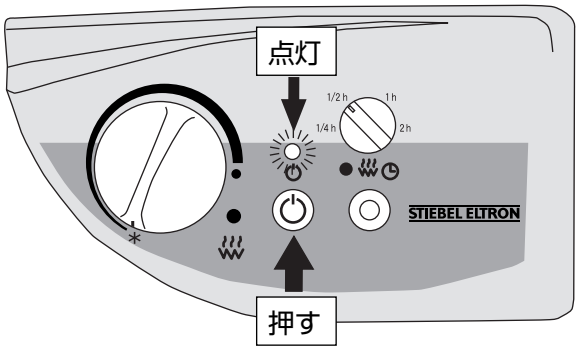
室温が約6℃を下回ると、ヒーター運転ランプが点灯して暖房を自動的に開始します。




②電源ボタンを押して、電源ランプを消灯します。
室温に関係なく停止したままになります。

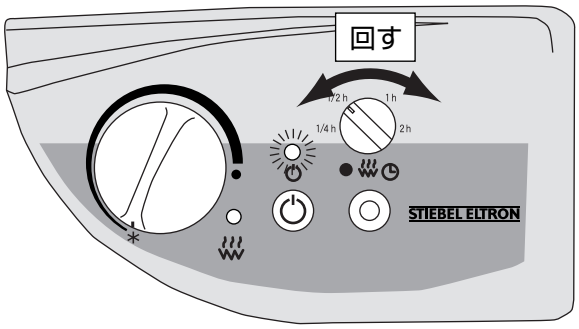
## 4−2. 強制運転

**（1）強制運転を開始します。**




①ブレーカを「入」（ON）にします。

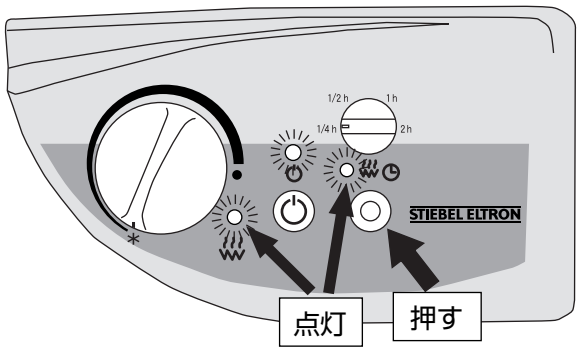
②電源ボタンを押し、電源ランプを点灯させます。




③強制運転する時間をタイマー設定ダイヤルで設定します。

設定時間を選択します。

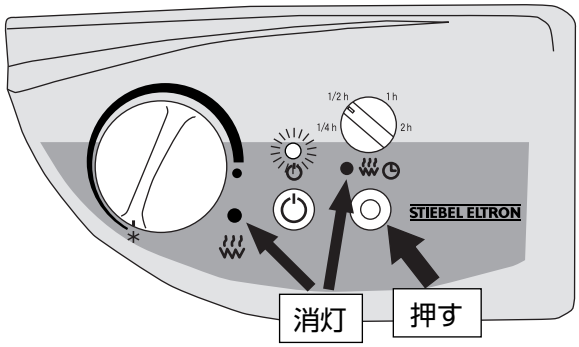
| | |
|---|---|
| 1/4 h： | 15分間 |
| 1/2 h： | 30分間 |
| 1 h | ： 60分間 |
| 2 h | ：120分間 |




④強制運転ボタンを押すと、強制運転ランプとヒーター運転ランプが点灯し、強制運転を開始します。

強制運転終了後は、室温設定ダイヤルの設定温度に従い暖房します。

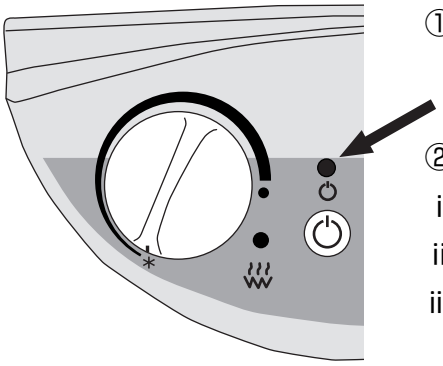
**（2）強制運転を停止します。**




強制運転ボタンを押すと、強制運転ランプとヒーター運転ランプが消灯し、通常の暖房運転または停止します。

## 4−3. 設定温度範囲の制限

以下は、任意で設定温度の範囲を制限したい場合に行います。



①電源ランプが消灯していることを確認します。

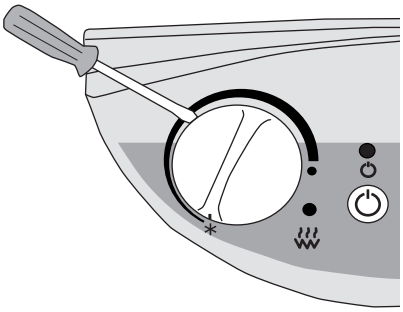
電源ランプ

②室温設定ダイヤルを制限したい内容に合わせて設定します。

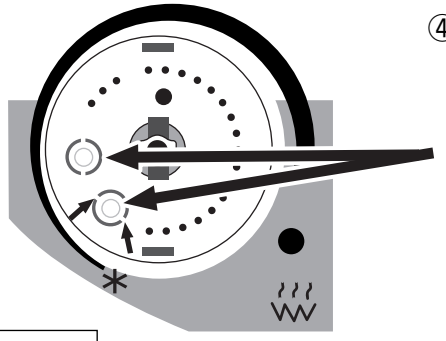
ⅰ）上限設定をしたい場合は、「＊」に合わせます。

ⅱ）下限設定をしたい場合は、最大に合わせます。

ⅲ）上限と下限を設定したい場合は、設定したい上限と下限の間に設定します。

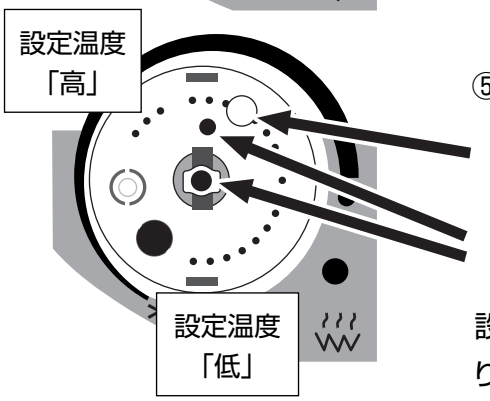


③操作部と室温設定ダイヤルの間にマイナスドライバーを差込み、室温設定ダイヤルを手前に引いて外します。



④温度制限用のピンは、設定仕様に応じて1個または2個、矢印の部分をカッターで操作部から切り離します。

温度制限用のピン



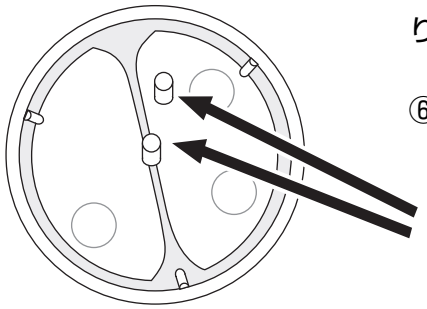

⑤温度制限用のピンを任意の位置に差込み温度を制限します。

温度制限用のピン

操作部の受口

設定温度「高」側に温度制御用のピンを差込むと制限温度が高くなります。

設定温度「低」側に温度制御用のピンを差込むと制限温度が低くなります。



⑥室温設定ダイヤル裏の 2 本の差込み棒を、操作部の受口に差込み固定します。

差込み棒

# 5. 日常の点検とお手入れ

機器は、ほこり等が付着したままの状態で運転をすると臭いや機器の変色、火災等の原因となる場合があります。定期的にメンテナンスすることで、長くご使用いただくことが可能になります。

①機器を停止して加温していない状態で清掃してください。

②通常は乾いた布で拭いてください。

③汚れがひどい場合は、適量にうすめた中性洗剤を含ませた布で拭きとってください。

④ベンジン、シンナー及びクレンザー、ナイロン製のたわしなどの使用は、機器を傷めますので絶対にやめてください。

安全にご使用いただくために10年に1度は、専門業者による点検を受けてください。

# 6. 故障かな？と思ったら

| 現　象 | 確認項目 | 処置方法 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 機器が温かくならない。 | ブレーカが「切」（ＯＦＦ）になっていませんか。 | ブレーカを「入」（ＯＮ）にします。 | ― |
| | 電源ランプが消えていませんか。 | 電源ボタンを押して、電源ランプを点灯させます。 | P. 4<br>4－1 |
| | 室温設定ダイヤルが「＊」に合わせてありませんか。 | 室温設定ダイヤルを時計回りに回します。 | P. 4<br>4－1 |
| 室温設定ダイヤルを最大まで回せない。 | 室温設定ダイヤル裏で、設定温度の上限を制限していませんか。 | 温度制御用のピンを抜くか、より高い温度の位置に差し直します。 | P. 6<br>4－3 |
| 室温設定ダイヤルを「＊」まで回せない。 | 室温設定ダイヤル裏で、設定温度の下限を制限していませんか。 | 温度制御用のピンを抜くか、より低い温度の位置に差し直します。 | P. 6<br>4－3 |
| 機器から液体が漏れている。 | | 漏れている個所を確認し、お客様センターに連絡します。 | P. 7<br>5 |
| 暖房をすると臭いがする。 | 機器に埃等が付着していませんか。 | 機器が冷えている状態で、拭き掃除をします。 | P. 7<br>5 |
| 暖房を停止できない。 | 室温設定ダイヤルを、高い温度に設定していませんか。 | 室温設定ダイヤルを反時計回りに回します。 | P. 4<br>4－1<br>(2) |
| | 強制運転していませんか。 | 強制運転ボタンを押して、強制運転ランプを消灯します。 | P. 5<br>4－2<br>(2) |
| | 電源ランプが点灯していませんか。 | 電源ボタンを押して、電源ランプを消灯します。 | P. 4<br>4－1<br>(2) |

上記以外の現象、または上記で問題が解決しない場合は、「P.8　7. 点検および修理について」をご参照の上、日本スティーベル株式会社のお客さまセンターまでご連絡ください。

# 7. 点検及び修理について

## (1) アフターサービス（点検・修理）を依頼される場合

アフターサービスを依頼される前に、この取扱説明書P７「6. 故障かな？と思ったら」をよくお読みの上、それでも不具合がある場合、あるいは不明な点がある場合は、ご自分で修理をなさらないで、お客さまセンターにご連絡ください。

**おねがい**

本機器に接続されているケーブルの取替えが必要な場合は、必ずお客さまセンターにご連絡ください。
機器本体または、部品などの取替え工事は必ず専門業者にお任せください。

アフターサービスを依頼される場合は、保証書をご覧のうえ、次のことをお知らせください。

① 型　　名　　：機器右面下部の銘板ラベルに記載。
② 製造番号　　：機器右面下部の銘板ラベルに記載。
③ 不具合の内容　：暖まらないなど。
④ お取付け年月日：保証書をご参照ください。
⑤ お名前、ご住所、電話番号。

**お客さまセンター**
フリーダイヤル
**0120-146-497**（固定電話のみ）
●携帯・ＰＨＳの場合 …… ☎022-727-5238

## (2) 補修用部品の最低保有期間について

この機器の補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後10年です。補修用部品とは、その機器の機能を維持するための部品です。

## (3) 保証について

この機器は、お取付け日から１年保証です。
保証書は、販売店または、施工店からお渡しいたしますので、必ず「販売店」または、「施工店」名、「お取付け日」などの記入をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みのうえ保管してください。
修理を依頼される場合、お客さまセンターにご連絡ください。保証期間内であれば、保証書の記載内容に基づき無料修理を行います。保証期間を過ぎても、修理により機器の機能が維持できる場合にはご要望により有料修理いたします。

**おねがい**

お客さまご自身で分解、改造した場合は、一切保証できかねますので、予めご了承ください。

# 8. 標準仕様

| 機種名　BHE75C | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 電　　源 | ※1 | 単相　200V　50Hz | 外形寸法　W×H×D（mm） | 1225×550×85 |
| 定格消費電力（W） | ※2 | 567 | 設定温度（℃） | 約6～30 |
| 定格電流（A） | ※2 | 2.84 | 凍結防止機能動作温度 | 約6℃以下 |
| 不凍液量（ℓ） | | 6.5 | 安全クラス　※3 | Ⅱ |
| 質　　量（kg） | | 17.5 | 保護等級 | IP24 |

※1　電源が60Hzの地域ではご使用いただけません。
※2　公差：定格値 ±10%
※3　安全クラスⅡの商品は、二重絶縁されているためアース配線は必要ありません。

STIEBEL ELTRON

タオルウォーマー

# BHE75C

# 取付説明書

品　名……BHE75C

型　名……BHE75C

取付工事店様へ

●この機器は、電気工事が必要となります。取付工事は必ず所定の資格を持った方が行なってください。
●この機器を正しく安全にお客さまにご使用いただくために、取扱説明書ならびに取付説明書のP.10「1. 安全上のご注意」をよくお読みのうえ、取付説明書の内容に沿って正しく取付けてください。
●施工上の責任は当社では負いかねますので、万一施工上に起因する不都合が生じた場合は、貴店の保証規定により修理していただくようお願い致します。
●本書の保証書に販売店及び取付日等の必要事項が記載されていることを必ず確認してください。
●工事終了後は、本書を必ずお客さまにお渡しください。
●工事終了後は、必ずお客さまに取扱いの説明を行なってください。直接、お客さまに説明できない場合は、現場責任者に説明の上、第三者から必ずお客様に取扱いの説明を行なうようにしてください。

日本スティーベル株式会社

# 1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。

| | |
|---|---|
| **警告** 誤った取扱いをしたときに、死亡、または、重傷に結びつく可能性があるもの。 | **注意** 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。 |

■ 本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

| | |
|---|---|
| **禁止マーク** | してはいけないことを示します。 |
| **注意マーク** | 注意することを示します。 |
| **指示マーク** | 必ず行なうことを示します。 |

## 警告

### 禁止

屋外や湿気の多い場所、浴室内には設置しないでください。また、機器に水がかからないようにしてください。

機器に水をかけないでください。また、機器が災害等により、濡れてしまった場合は、使用しないでください。

200Vの電源ケーブルに100Vの屋内配線を接続しないでください。

絶対に改造はしないでください。

取外しの指定がない部品は、取り外さないでください。また、指定されている付属部品以外は使用しないでください。

付属の電源ケーブルを外さないでください。

濡れた手で機器を操作しないでください。

機器の試運転中、試運転直後は、機器が熱くなっている場合がありますので触らないでください。

壁面以外に設置するのは、絶対におやめください。

機器の離隔距離の範囲内に物を掛けたり、設置したり窓等の開口部がないようにしてください。

| | 上面 | 下面 | 左面 | 右面 |
|---|---|---|---|---|
| 離隔距離 | ≧150mm | ≧200mm | ≧150mm | ≧150mm |

他の暖房器と隣接させないでください。

機器の近くに、ガス類等の可燃性物質や爆発の恐れがある物質を保管したり、使用したりしないでください。

電源周波数が50Hz専用機器ですので、60Hzでは絶対にご使用にならないでください。

ジョイントボックスは、機器から100mm以上離して設置してください。

## 注意

電源ケーブル等の配線は最小の長さにして、周囲に遊びをとらないでください。

電線の接続は、接続部分での電線の電気抵抗を増加させないようにしてください。また、絶縁性能の低下のおそれがないようにしてください。

## 指示

電源及び消費電力、定格電流を銘板ラベルで確認し、必ず内線規程に従って正しく行なってください。

電圧は定格電圧の±10%以内であることを確認してください。

壁固定金具が正しく取付けられ、機器がしっかりと壁面に固定されていることを確かめてください。

# 注意

## 禁止

設置前の機器は、雨水が当たる場所に置かないでください。

機器の上に物を置いたり、機器に荷重を掛けたりしないでください。

## 指示

暖房負荷に基づいて選定したヒーター容量より機器の容量が小さい場合は、暖房器として十分に機能しないことがあります。（暖まりません）

機器は必ず補強された壁に固定してください。設置場所の選定にあたっては、背面固定のできる場所を選んでください。

壁補強材は、柱または間柱にしっかりと固定してください。

壁紙などは熱で変色しないもの、防炎仕様のもの、清掃可能なものを使用してください。

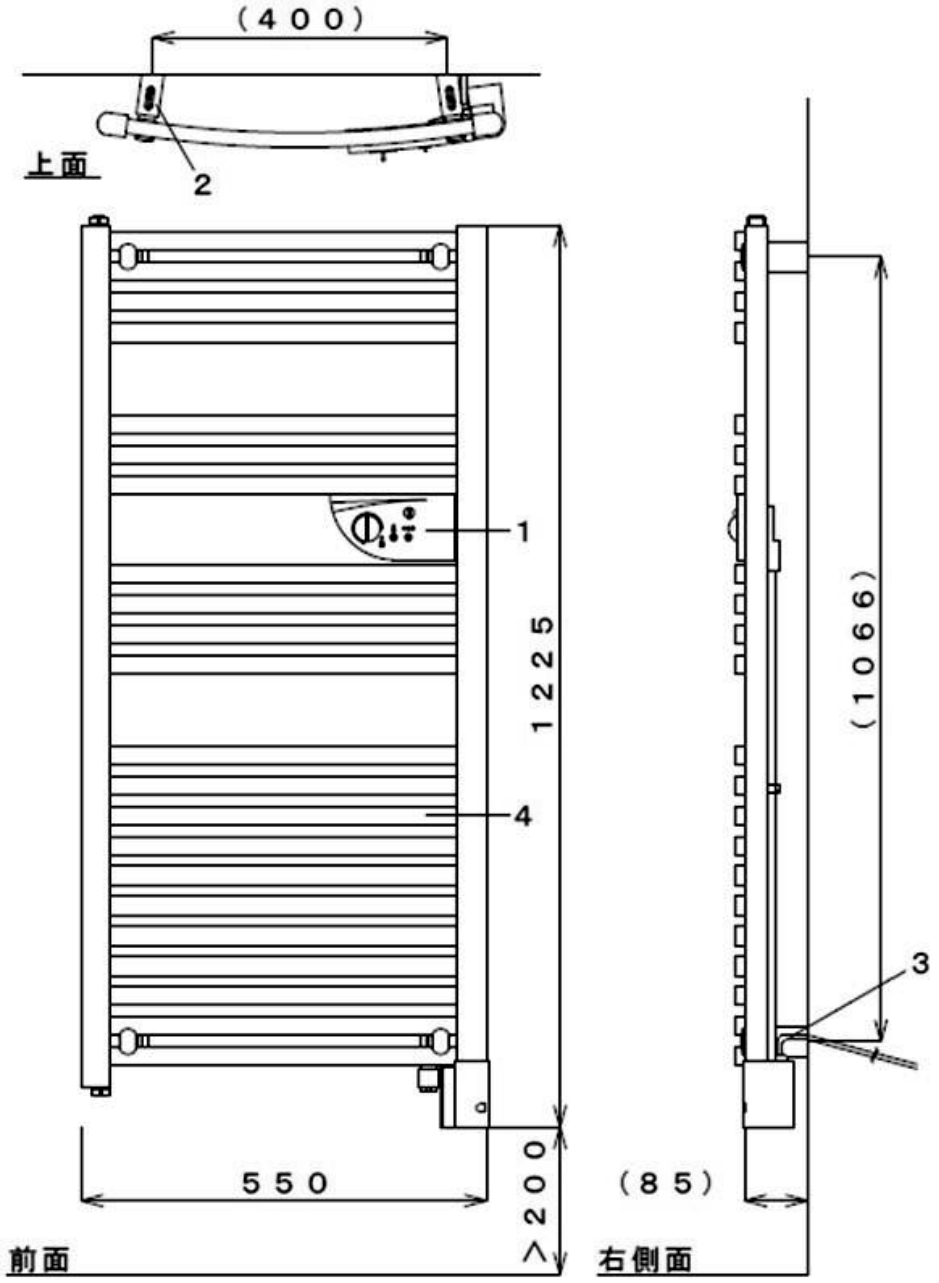
仕上材及び下地材に使用する木質材料、固定用の接着材などにはホルムアルデヒド等のＶＯＣの放散が基準値以下になるものを使用してください。

機器の異常を発見した場合は、お客さまに引き渡しをせず、お客さまセンターにご相談ください。

取扱説明書の保証書に販売店、及び、取付け日等の必要事項が記載されていることを確認し、必ずお客さまにお渡しください。

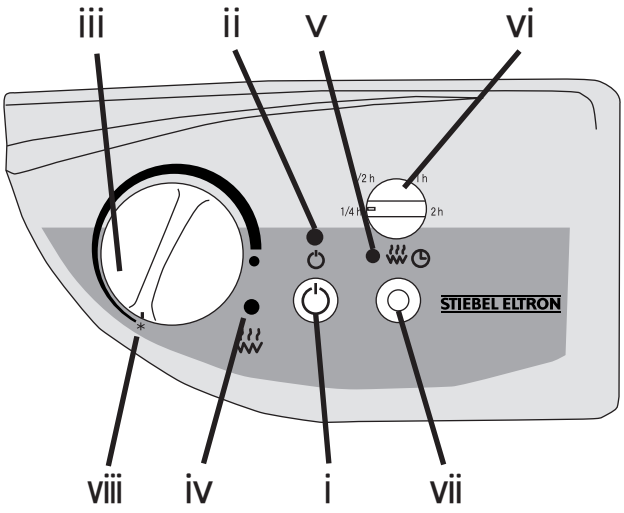
工事終了後は、必ずお客さまに取扱いの説明を行なってください。直接お客さまに説明できない場合は、現場責任者に説明の上、第三者から必ずお客さまに取扱いの説明を行なうようにしてください。

# 2. 各部のなまえ／外形寸法




１：操作部
２：壁固定金具×４
３：電源ケーブル2芯1m
４：放熱パイプ

**操作部詳細**




i　：電源ボタン
ii　：電源ランプ
iii　：室温設定ダイヤル
iv　：ヒーター運転ランプ
v　：強制運転ランプ
vi　：タイマー設定ダイヤル
vii　：強制運転ボタン
viii　：凍結防止設定

# 3. 取付方法

## 3－1. 事前準備

①機器設置位置の周囲に下記離隔が確保できることを確認します。

②下記仕様の機器設置位置の右下方に、ジョイントボックスを設けておきます。

離隔距離

| 方向 | 離隔距離（mm） | 方向 | 離隔距離（mm） | 部　材 | 離隔距離（mm） |
|---|---|---|---|---|---|
| 上側 | ≧150 | 左側 | ≧150 | ジョイントボックス（側方のみ設置可） | ≧100 |
| 下側 | ≧200 | 右側 | ≧150 | | |

③2芯の屋内配線をジョイントボックスから引き出せるようにします。

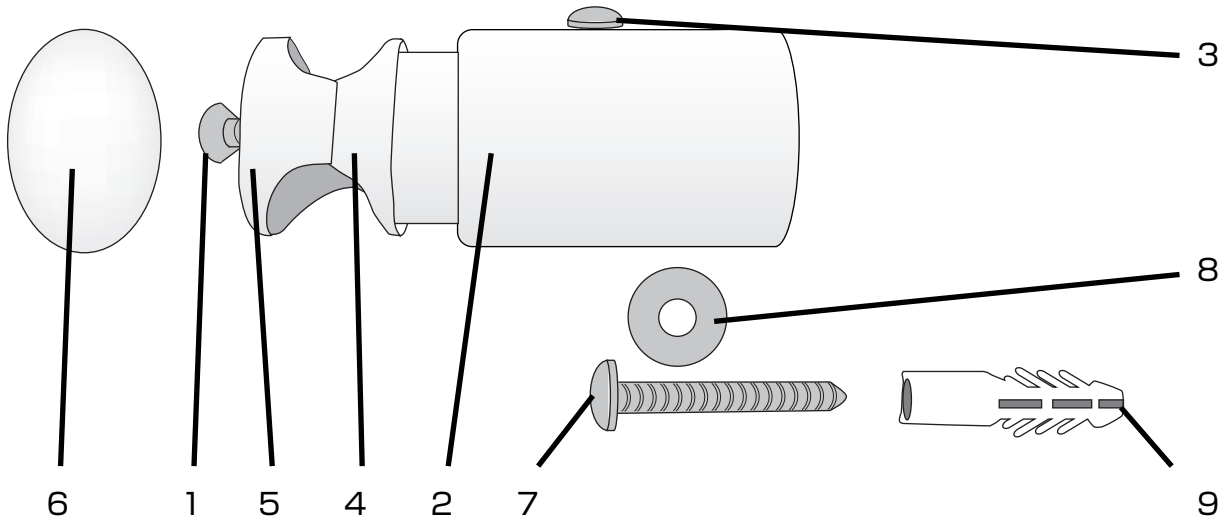
屋内配線（2芯）仕様

| | ＶＶケーブルの場合 | ＣＶケーブルの場合 |
|---|---|---|
| 屋内配線 | 1.6mm | 2.0mm$^2$ |

④付属部品を確認します。

壁固定金具セット …… 1組

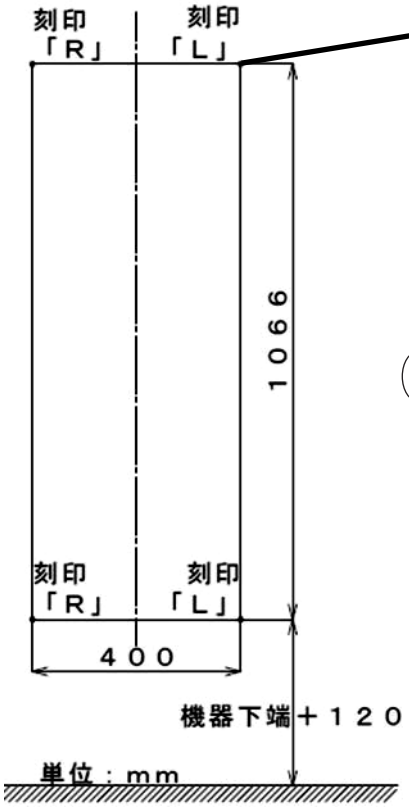
1　M8×27固定ネジ …… 4本
2　壁固定スリーブ …… 4個
3　M5×12ロックネジ …… 4本
4　壁側ホルダー …… 4個
5　機器側ホルダー …… 4個
6　カバーキャップ …… 4個
7　Φ5×52壁固定ネジ …… 4本
8　Φ7ワッシャー …… 4枚
9　カールプラグ …… 4個




バスローブフックセット …… 1組

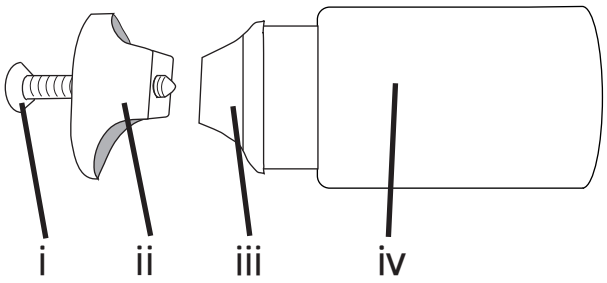
1　バスローブフック …… 2個
2　専用ワッシャー …… 2個
3　バスローブフック背面金具 …… 2個

## 3−2. 機器の壁設置

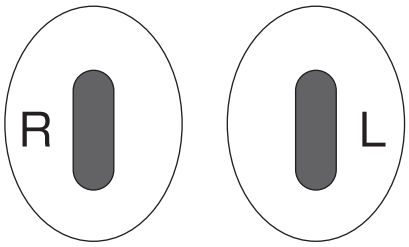



壁固定スリーブの固定位置×4

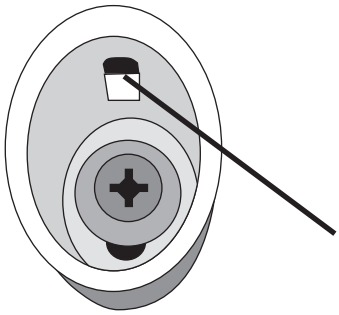
①機器の壁面設置位置を左図のように定めます。
②機器側ホルダーのM8×27の固定ネジを外し、機器側ホルダーと壁側ホルダー、および壁固定スリーブに分けます。




i ：M8×27固定ネジ
ii ：機器側ホルダー
iii ：壁側ホルダー
iv ：壁固定スリーブ

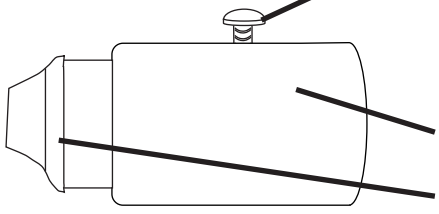



③壁固定スリーブの壁固定側に「R」の刻印がある壁固定スリーブを機器正面左手側、「L」の刻印がある壁固定スリーブを機器の正面右手に配置します。



④壁固定スリーブ4個をネジ穴が上を向くように、付属のカールプラグとΦ5×52壁固定ネジ、または相当のネジおよびΦ7ワッシャーを使用して固定します。

ネジ穴

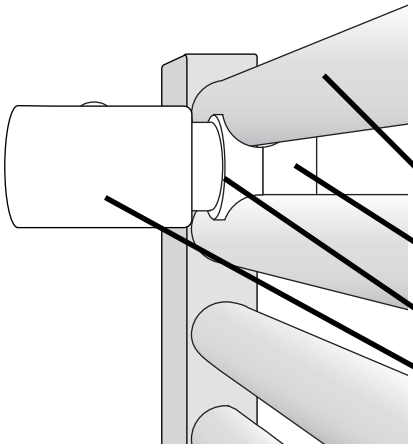


M5×12ロックネジ

⑤壁固定スリーブ4個に壁側ホルダー4個のネジ穴が上を向くようにそれぞれ差込みます。

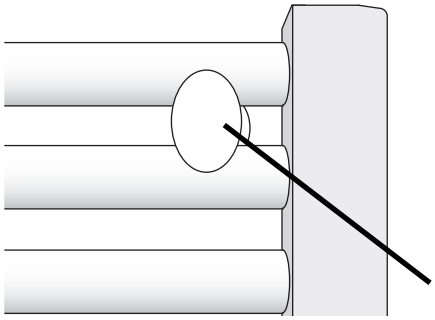
壁固定スリーブ

壁側ホルダー




⑥機器の放熱パイプの最上段および最下段の高さで、各々壁側ホルダーと機器側ホルダーで放熱パイプを挟み、M8×27固定ネジで固定します。

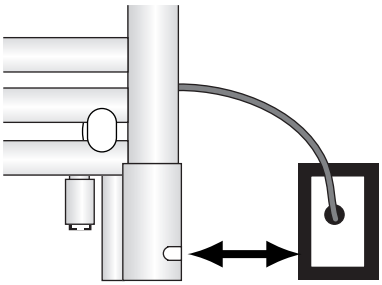
左図は、放熱パイプ最上段部右側を示しています。



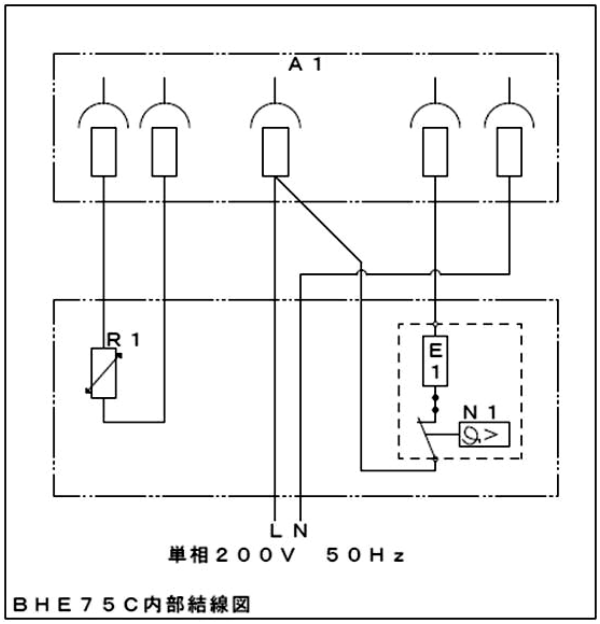

⑦壁固定スリーブ上部のM5×12ロックネジ4本を締付けて、機器と壁間の離隔距離を85mm以上に固定します。

⑧機器側ホルダー4個の正面にカバーキャップをそれぞれ差込みます。

## 3−3. 電源接続



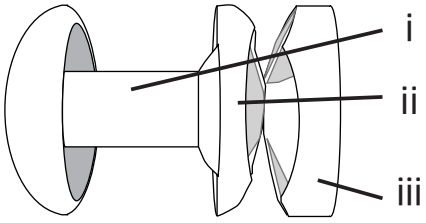

①機器付属の電源ケーブルを適切な長さに切断して、ジョイントボックス内の屋内配線と電気的に接続します。
②接続部をジョイントボックス内に納めます。




Ａ１　：基板
Ｅ１　：ヒーター
Ｎ１　：室温コントローラ
Ｒ１　：室温センサー
Ｌ、Ｎ：200Ｖ電源ケーブル

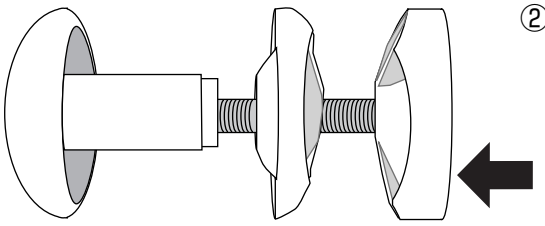
参考：機器内結線図

## 3−4. バスローブフックの取付

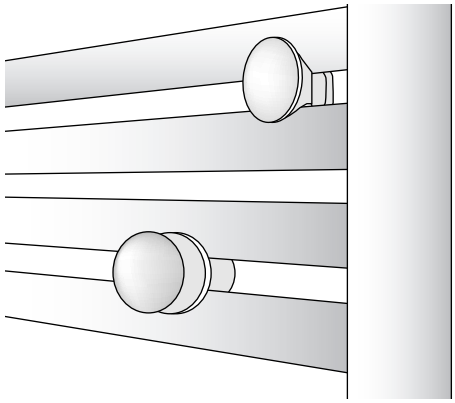



①バスローブフックセットからバスローブフックを取り出します。

i ：バスローブフック
ii ：専用ワッシャー
iii ：バスローブフック背面金具




②バスローブフック背面金具を壁面側からネジが空回りしないように抑えながら、バスローブフックを反時計回りに回して外します。



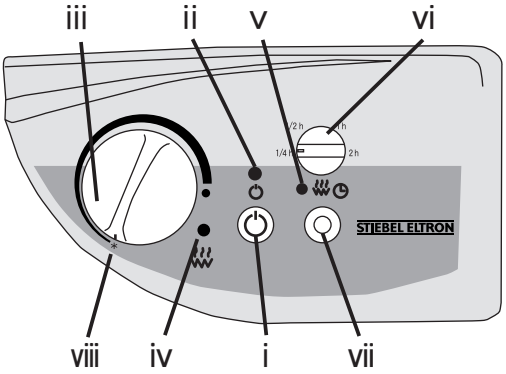
③バスローブフック背面金具と、専用ワッシャーを任意の位置で機器の放熱パイプ間に合わせます。

④バスローブフック背面金具を手で抑えながら、バスローブフックを時計回りに回して固定します。

# 4. 試運転

①ブレーカを「入」（ON）にします。

**操作部詳細**




i ：電源ボタン
ii ：電源ランプ
iii ：室温設定ダイヤル
iv ：ヒーター運転ランプ
v ：強制運転ランプ
vi ：タイマー設定ダイヤル
vii ：強制運転ボタン
viii ：凍結防止設定

②電源ボタン「 i 」を押し、室温設定ダイヤル「iii」を最大にします。

③電源ランプ「ii」と、ヒーター運転ランプ「iv」が点灯することを確認し、電流値が下表の許容範囲内であることを確認します。

| 機　種 | 電流値（A） | 許容範囲±10%（A） | | 抵抗値（Ω） | 許容範囲±10%（Ω） | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| BHE75C | 2.84 | 3.12 | 2.56 | 70.53 | 77.58 | 63.48 |

④室温設定ダイヤル「iii」を最小に設定し、電源ボタン「 i 」を押します。

⑤ブレーカを「切」（OFF）にします。

# 保 証 書

本書は、下記〈無料修理規定〉に基づいて無料修理を行うことをお約束するものです。お取付日から１年以内に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お客さまセンターに修理をご依頼ください。

| | | |
|---|---|---|
| お客様 | フリガナ | |
| | お名前　　様 | |
| 販売店 | 社名　　印<br>〒<br>住所 | 取扱者<br>印 |
| | 電話（　　）　　－ | |
| お取付日 | 年　　月　　日 | |

| | | |
|---|---|---|
| 製　品 | BHE75C | |
| 製造番号 | －　　－ | |
| 保証期間 | 製品 | お取付日から１年 |

機器はお取付日から１ヶ年保証です。

★お客様へ

この保証書をお受け取りになるときは、お取付年月日、販売店名、扱者印が捺印してあることを確認してください。保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した期間、次の条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

（無料修理規定）

1．取扱説明書、機器に貼られているラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、表記期間無料修理致します。

2．保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、お客さまセンターにご依頼の上、修理をお受けになる時に本書をご提示ください。

3．ご転居等、お取付場所を移動する場合は、予めお客さまセンターにご相談ください。

4．保証期間内でも次の場合は有料修理となります。

（A）使用上の不注意、過失による不具合及び不当な修理や改造による故障や損傷の場合。

（B）お取付け後の移設及び取付説明書に基づいた取付けがなされていなかったことに起因する故障、及び損傷の場合。

（C）火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害やガス害（硫化水素ガス）・塩害・異常電圧による故障及び損傷の場合。

（D）指定外の電源（電圧・周波数）で使用した場合の故障や損傷。

（E）一般の建物以外（例えば車輌・船舶・粉塵やガスの浮遊する施設）等で使用された場合の故障や損傷。

（F）砂やごみ及びほこり等による不具合、故障、損傷があった場合。

（G）本書の提示が無い場合、お客様名、お取付店名、お取付日の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。

5．以下の場合に生じた費用及び代金は、本書による無料による無料保証の対象にはなりません。

（A）理由の如何を問わず、機器設置後に、不適切な設定により増加した電気代。

（B）機器を設置したことによって生じた使用場所とその周辺の変色、変形、異音等の補修費用。

6．本書は日本国内においてのみ有効です。

7．本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

STIEBEL ELTRON 日本スティーベル株式会社

STIEBEL ELTRON 日本スティーベル株式会社

**お客さまセンター**

フリーダイヤル **0120-146-497**（固定電話のみ）

●携帯・ＰＨＳの場合 …… ☎022-727-5238

〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町66-2 興和川崎西口ビル８Ｆ

ホームページ　http://www.nihonstiebel.co.jp

■製造者

スティーベルエルトロン

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

本書は環境保護のためリサイクルペーパーを利用しております。

商品コード
62998132

T3141201
20150114A